

令和7年度 河津町教育委員会 学校教育指導の重点

国の方針

持続可能な社会の作り手の育成
日本社会に根差したウェルビーイングの向上

県の方針

未来を切り拓く人材の育成と
社会を生き抜く力を育む教育の実現

- 未来を創造する力を育む教育の推進
- 全ての人の学びを支え力を引き出す教育の推進
- 地域ぐるみで取り組む教育の推進
- 学びを支える基盤づくり

子どもの実態

- ・明るく素直。同学年・異学年間でも仲がよい。
- ・基礎的・基本的な力は比較的定着している。しかし知識を活用したり関連付けて考えたりする力に弱さが見られる。
- ・自分の考えを進んで発表するなど、豊かな表現力について課題が見られる。(良さを伸ばしつついいに子供の実態をみとる)

保護者・地域の実態

- ・海、山、川に囲まれた自然豊かな環境である。
- ・学校に対してとても協力的で、参観会等の学校行事やPTA活動には積極的に参加するなど、学校を支えようとする意識が高い。
- ・純粋な地域性。学校教育に寄せる期待や関心は高い。
- ・地域の行事も盛んで、地域で子どもを育てようとする気風がある。
- ・これらの良さを継承し、継続していく。

河津町教育委員会 学校教育の方針

郷土を愛し、豊かな心身を育む
未来社会を切り拓く「人材育成」に努める



豊かな感性

～自他を認め、共に磨き合う力を育てる～

- 命を大切にし、共に生きる子ども
- 「いじめをしない・させない・許さない」という強い意志を持った子ども
- 真理を求め、深く考え、自ら動く子ども

目指す子ども像

自ら学び、自ら考え、判断し、進んで行動できる子ども

確かな学力

～夢をもち、共に学び合う力を育てる～

- 感性や知的好奇心を発揮し、間違いを恐れず学び続ける子ども
- 豊か自分を表現し共に高め合う子ども
- 学んだことを、次の教科や学年及び生活に生かす子ども



健やかな心身

～体を鍛え、共に高め合う力を育てる～

- 運動に親しみ、進んで体力向上に努める子ども
- 基本的な生活習慣を身に付け、自ら律する子ども
- 望ましい食習慣を身に付け、健康の保持増進に努める子ども

目指す学校の姿

- 子ども同士の好ましい人間関係や教員との信頼関係を構築する学校（みんなが「つながる」学校）
- 集団の一員として、子どもが安心して居心地よく過ごせ、自分の力や良さを発揮できる学級・学校
- 分かりやすい授業や問題解決的な学習など、子ども主体で誰一人取り残さない授業が展開される学校
- つまずきや試行錯誤などが当然のこととして受け入れられる学校
- 教職員がチームとして考え動くことができる学校（教職員が「つながる」学校）
- 教師同士が気軽に互いの授業を見合い、日常的に意見交換ができる学校
- 子どもの表れをもとに学びについて指導観を共有しながら授業力を高め合う学校
- 家庭や地域と連携をとり、郷土学習や自然体験、社会体験など、子どもに様々な学びの場を提供できる学校
- 地域の風がゆきかう開かれた学校（地域と「つながる」学校）
- 幼・小・中のつながりのある連携の中で、子どもと保護者・教職員が育っていく学校

重点1

安全・安心な環境づくりを推進し、「命を守る教育」の充実に努める。

重点2

よりよい学級づくりや学年経営を通して、好ましい人間関係づくりに努める。

重点3

道徳教育を基盤とし、人権教育を推進するとともに、特別支援教育の充実に努める。

重点4

郷土学習を推進し、自然体験活動やボランティア活動の充実に努める。

重点1

「主体的・対話的で深い学び」を踏まえた授業づくりを通して「確かな学力」の育成を図る。

重点2

外国語教育や情報教育を充実させ、国際理解を深め高度情報化に対応する基礎を培う。

重点3

学校での読書活動について、国語授業・アドバイザー・各読書団体と連携を図り取り組む。

重点1

学校体育の充実を図り、生涯スポーツの基礎づくりに努める。

重点2

家庭との連携を図り、基本的な生活習慣について自ら律していこうとする態度を養う。

重点3

食育の推進を図り、体育・健康に関する取組を推進し、健やかな心身を育む。

家庭・地域との連携

重点1

家庭教育の支援と充実を図り、地域の子どもの地域で育む体制づくりに努める。

重点2

町内にある文化財を知り、町民の一人として「河津の文化」への関心と誇りを育む。



社会総がかりでの教育の実現
学校運営協議会制度の運用・充実

- 子供の学びの充実
- 地域の方々の学校理解と連携・協働
- 学校・保護者・地域の人間関係の構築